

論文

小川潤

帝政初期ローマ皇帝によるガリア統治政策とドルイド弾圧再考  
——皇帝属州ガリアにおけるローマ化の一側面——

望月滯

16世紀ケルンに於ける市政の変容と大学の改革  
——中世以来のケルン大学史に於ける改革の意義をめぐって——

特別寄稿

ロバート・C・T・パーカー（佐藤昇訳）

「ポリス宗教」

——宗教に関することはどこで決定されるのか——

デイヴィッド・ベル(桑子亮ほか訳)

トウサン・ルヴェルチュール、ハイチ革命、グローバルな啓蒙

史料解題・翻訳

藤崎衛監修 第一・第二ラテラノ公会議(1123、1139年)決議文翻訳

# クリオ vol. 32 (2018)

東京大学西洋史学研究室発行 定価 1,000円